

2019年11月23日 中東スペシャルアップデート ネタニヤフに、次は何が？

アミール・ツアルファティ

- ネタニヤフ首相の今後について、ティベリアよりスペシャルアップデート -

<https://youtu.be/41XfipkUSwA>

ご存じのように、今、イスラエルの国は暗い日々です。木曜日の夜、アヴィクハイ・マンデルブリット司法長官が、ベンジャミン・ネタニヤフに対する起訴状の全リストを読んだとき、彼が言ったことのうち、私たちにとって新しいことは何一つありませんでした。ただ、私たちがショックを受けたのは、明るみに出たすべてのもの、そして、すべての問題、すべての事態と、この調査の一部であった、すべての違法なプロセス、それが完全に見落とされていたことでした。彼らが初日から望んでいたのは、ほんの数日前に彼らが実際にやったことであり、言ったことです。言い換えれば、ネタニヤフを起訴する、非常に明確な目標があったのです。彼らは、それを行う方法については何も考えず、ただ、それをやった。それだけです。のちほど、すべてを説明します。

しかし私は、イスラエル人として、ひとつ伝えたいと思います。私はイスラエル人であることを、非常に誇りに思っています。皆さん、たぶんご存じでしょう。私は告白しなければなりません。シリア、レバノン、イラク、イラン、さらにはエジプトやヨルダンで起きている、すべての出来事を踏まえて、私は、いつも我が国を称賛していました。私たちは安定した民主主義であり、民主主義が盛んです。物事は、ここで機能しています。私たちの周りの他の場所とは異なり。私たちは非常に独特で、異なっています。これは、私がずっと称賛していたものです。私は、それが私たちの力だとは思ったことはありません。私はいつも神を讃えていました。そして、私はいつも、それは主の力であり、私たちの力ではないと信じていました。しかし、私たちは違っていると思っていました。そして、私の人生のこの10年間、私は自分の国が繁栄し、文字通り、地球上のどの国も無視できない国になるのを楽しんできました。また、イスラエルの繁栄に関しては、預言が成就するのを見て楽しみました。シリアへのロシアの侵略と、トルコの侵略、イランの侵略があることに気づいた時も、もちろん、これらすべてから、現在、有名なエゼキエル戦争の危機に瀕していることを理解しました。そして、私は常に、国内の紛争や国内の問題を横に押しつけていました。私は、どの国にも独自の分裂や、政治的な対立は生じるものだと思っていました。

それが、政治家ではなく、基本的に弁護士です。その集団が、国民に取って代わって、彼らが首相を決める日が来るとは、思っても見ませんでした。そして彼らが、いかにして首相を取り除くかを決定し、そして、彼らが彼（ネタニヤフ）が就任することが許されるかどうかを決定するのです。自分がこの日を見るときは、思ってもいませんでした。しかし、私がバカでした。私は知っていたはずでした。その日がすぐに訪れることを、知っているはずでした。私は、それがアメリカで起こっているのを見ていて、保守的な場所なら、どこでもヨーロッパや他の場所で起こっているのを見てきました。グローバリストが、彼らの議題（アジェンダ）を達成するのを邪魔する人がいる場所は、どこでもその者を消そうとする試みは、ずっと続いています。私たちは非常に多くの場所で、それが起こっているのを見ています。特に米国で。今、アメリカとイスラエルで起こっていることの間には、驚くべき類似性があります。しかし皆さんにお伝えしたいのは、私は司法制度や法執行機関の、腐敗したメディアとのコラボレーションに、とても驚きました。

さて、私は長い間、米国の閥組織について話してきました。シークレットサービスで、あちらの軍の上層部で。そしてもちろん国務省は、世界統一政府とグローバニストの議題(アジェンダ)に、完全に感染していません。しかし、それは長い間そうでした。くり返しますが、私は他の国を見るのに忙しくて、自分の中で起こっていることが見えていませんでした。それが、危機が非常に深かった理由です。つまり、文字通り、木曜日の夕方、私は家に帰ってきて、ほぼ一時間、静かに外に座りました。妻は私を探していて、外に座っているのを見つけました。私が外に座って空を見つめ、理解しようとしている状況は、今までなかったと思います。「ここは私の国ですか？それとも、私が思っているとおり、私の国が、私から盗まれたのですか？ものすご

くパワフルな要素によって？」彼らの議題(アジェンダ)は、すべてが私の計画、私の生き方、考え方とは異なります。

さて、さかのぼること数年前。彼らはずっとネタニヤフを倒そうとしてきました。彼は、まさにグローバル主義者たちが嫌うものだからです。ネタニヤフがイラン取引と、そしてイスラエルを孤立させ、イスラエルに土地を放棄させて、もちろんパレスチナ人にますます多くのものを与えることを強制しようとするアメリカの前政権の試みに対して立ち向かった瞬間から、イスラエルのメディアの、首相を倒そうとする試みがありました。しかし、メディアはメディアです。私は彼らを“ミデヤン人”と呼びます。私は、それに驚いたことはありません。それは、ほとんど世界中にありますから。私はフィリピンでそれを見ますし、私はアメリカでそれを見ます。私はヨーロッパ中でそれを見ている。メディアは、常にリベラルで革新的な議題(アジェンダ)であり、そして、彼らは常に、常に、残念ながら、保守的なものよりも、非聖書的な価値観でさえ味方にします。だから、私はメディアについて驚きませんでした。しかし、ゆっくりと私たちは司法制度、司法長官と彼の事務所の検察官の試みを見始め、彼らは非常に多くの異なる分野で、ネタニヤフを告発し、捕らえようとしてきました。それは、ケース番号1000から始まり、ケース番号2000、ケース番号3000、ケース番号4000。もう、イスラエルでは冗談になっています。いったい何件？いったい、いくつの…。いつまでその男を迫害し続け、何か問題を見つけようとするのだろうか。ちなみに外では花火をしています。誰も恐れないことを願います。これは安息日の終わりに、ここティベリアで起こることで、あちらではさまざまな活動が行われています。しかし皆さんに知ってほしいのは、最終的に彼らはネタニヤフを起訴することが出来る3つのケースを発見したのです。そして、彼らは、確かにそれらの3つのために、彼を起訴しました。ひとつは…注意深く聞いてください。私より低い給料を受け取る人、過去10年間、一晩としてぐっすり眠っていない男。起こっているすべてのことのために、彼は電話を受け、出来事やアラートに関する通知を受け取りますから。ヨーロッパ、国連、ロシア、中国、そしてもちろんアメリカ大統領が率いたイラン協定に対して、ひとりで立ち向かった男。皆さん、聞いてください。この男は、彼が望むなら億万長者になれたのです。彼が何年も前に辞任し、世界中で講義を始めていれば、彼は世界中で称賛されています。しかし、彼は低い給料を取り、彼は彼の全人生を献身しているのです。イスラエルの首相が、どんな状況に直面するかを知らず、だれもそれをしたいと思うことすらないでしょう。では、起訴状は何なのか？言わせてください。まず、彼は彼の友人から、シャンペンと葉巻を受け取りました。ちょっと待って。彼はその友人に何も返さなかった。ただの贈り物でした。贈り物…私は首相が時間をかけて、彼の望むようにリラックスしても構いません。彼はお金を盗んでいないし、他のだれかから何かを受け取ったのではなく、実際には友人から受け取ったのです。その友人は、“ノー”と言うことができたが、“ハイ”と言うことを選んだ。彼は見返りに何も受け取っていません。イスラエルの検察当局は、シャンペンが多すぎ、葉巻が多すぎると考えている。「したがって、それを報告しないことは、基本的に間違いであり、それは信頼の侵害と詐欺だ。」と。シャンペン、葉巻。そんなことを自分が言っているなんて、信じられません。

2つ目は、彼がイスラエル最大の新聞出版社と会ったことです。ところで、首相や報道機関の出版社は、定期的にそれを行います。そして物事について、意見の交換がありました。そしてネタニヤフは彼らに尋ねました。「あなたたちは、常に私の後を追っているが、それを90%から70%に減らしてはどうか？」そして3つ目は、あるオンラインニュース機関のオーナーが何らかの形で公表し、そこから多くのお金を稼いだことです。そしてその見返りに、ネタニヤフは、そのニュース機関で“肯定的”に報道された。第1に、ネタニヤフは彼に何も与えなかった。公共に出ることは承認されていました。すべての取引は、すべての規制当局、すべての委員会、可能なすべての事務所によって承認されていました。ネタニヤフは、ここでは無関係でした。第2に、ここでもネタニヤフが称賛を受けたわけではなかったが、彼は毒を受け取らなかった、それだけです。政治家が贈収賄で起訴されるのは前代未聞です。それも何のためですか？報道機関が、彼に関して何か肯定的なことを書いたこと。しかも、特に彼は彼らに何も返していないのに。聞いてください。それはバカバカしいどころではありません。しかし、それ以上に私を悩ませたのは、すべてが行われた時間枠です。イスラエルの歴史の中での他のケースとは異なり、彼らは文字通り、彼が再び首相になるのを許さないことを明らかにしました。そして、彼らの決定はすべて、以前の他のどのケースよりも10倍速かった。彼が審理を依頼された瞬間から起訴状まで、1ヶ月半。今までで一番速かったのは、10ヶ月でした。ここで見えるのは、彼らはネタニヤフの友人と一部を取り、彼らを国家の証人にしたのです。言い換えれば、彼ら

は、彼らと何らかの取引をしたのです。「あなたはネタニヤフについて話しなさい。私たちは、あなたを起訴しません。」と。しかし、彼らはどのようにそれを行ったのか？彼らは、基本的に彼らを強要しました。私たちは、いま知っています。何があっても、何としても、ネタニヤフを取り除こうとするイスラエルの検察の集中的な動きがあったことを、我々は知っています。ここが、我々は民主主義の地位を失ったのではないかと私が恐れる点です。民主主義とは、国民が首相に投票する時です。民主主義は、国民が首相を解任する時です。民主主義は、そのような主張が公表される時です。人々は投票しているか、投票していないかのどちらかです。

私をさらに驚かせるのは、いま、イスラエルの司法制度がイスラエルの国家の基本法に反している、という事実です。すべての中で最高の国家の法律です。検察は、彼が再び出馬する権利を否定する決議を持ち出そうと考えているのです。ところで有罪と証明されるまでは、世界中で無実です。だれもが無実です。彼らは、彼らの望むものは何でも起訴できます。私は起訴された多くの政治家を見てきましたが、彼らは無罪でした。彼らは、最後には無実でした。だからネタニヤフ…。しかし、彼らが彼に望んでいるのは、事務所から取り除かれることです。実際、検察官のひとりはい言いました。「もし、ネタニヤフが再び勝利すれば、テーブルの上に贈収賄があるだろう。もし彼が辞任するなら、テーブルに贈収賄はないかもしれない」だから、彼らがささいなことでも彼を起訴しているだけでなく、彼らはまた、彼が出馬するための権利を取りたいと考えています。

なぜ私は、ネタニヤフは、もはや首相になれないかもしれないと思うのか。なぜなら、彼らがしたことによって、イスラエル国民は、次のように述べているからです。

「まあ、彼が無実なのか有罪なのかは分からない。たぶん彼は無実だ。しかし現時点で、我々は安定性を望んでいる。私たちは正気を求める。だから彼は辞任し、彼の汚名を消すために自分のことを考えた方が良くかもしれない」

見てください。私自身の周辺でさえ、人々が私に言っているのです。

「彼が辞任すれば良いだけだ。」

いえ、それはまさに彼らが望むものです。彼らは首相官邸を引き継ぎ、革命を完了する間、彼に辞任し、彼のことだけを考えてほしいのです。これを私は、「政治的暗殺」と呼びます。これは私は、「クーデター」と呼びます。そしてこれを私は、「イスラエルの民主主義の最後の日」と呼びます。

ハマスは、つい先ほど声明を発表しました。

「ネタニヤフに対する起訴に非常に励まされている。イランも同様だ」

私が思うに、もしハマスが激励され、イランが幸せならば、我々は何か間違ったことをしているのではないかと心配すべきではないでしょうか。

もう一つ知ってほしいことは、私はイスラエルで保守的な路線を完全に放棄し、リベラルな議題(アジェンダ)を持ち込もうとする試みが増えているのを見ています。さて、皆さん理解してください。この戦術は、いまのトランプ大統領に対するものと非常によく似ています。皆が…、人々はそれを理解していないが、私は民主党員でさえ、弾圧がないことを知っていると思います。あそこには弾圧できる要素はありません。彼らはみんな、それが冗談だと知っていると思います。しかし彼らが、この何週間してきたことを見てください。彼らはアメリカ人に、大統領がどれほど悪いか、大統領がどれほど腐敗しているか、大統領がどれほど嘘つきか、そして、国がどれほど混乱しているかを見せようとしています。それはすべての嘘と欺瞞ですが、なにが起きたかという、おそらく彼らは、彼が決して弾圧されることはないを知っていても、彼らは、今度の選挙で彼が負けることに賭けているのです。これが、まさに彼らが行うことです。彼らは、何か最終的に定着することを期待して、ますます多くの「泥」をノンストップで投げつけます。そして、彼らが、ただ望んでいるのは、アメリカ国民に、こう考えさせること。

「もっと安定した人が良くない？」「もっと物事を、再び正常にしてくれる人？」「もう少し落ち着いた人が良くない？」

彼らは基本的に、アメリカ国民に言っているのです。

「落ち着いてリラックスしていた時代に戻りたくないですか？」

私は言いたい。ここで起こっているのと似たような戦術が行われています。私はネタニヤフが有罪だとは思いません。彼が刑務所に入ったり、有罪判決を受けたりするとは思いません。しかし、私が信じているのは、

彼らが今やっていることは、彼のいまの状況を利用して、てこの作用で、周りのだれもが彼が弱いことを利用して、彼がイスラエルの次の首相にならないかぎり、他の選択肢を提案するのです。ネタニヤフには、文字通り、3~4の選択肢があります。最初のオプションは、あきらめて前進しない。彼はまだ、この暫定政府の首相です。いま、イスラエルの政治システムは行き詰まっています。2回の選挙の後、イスラエルの人々は、まだ決めかねています。それはほとんど対等であり、現在未定の票が、間違いなく、これらの主張と起訴の影響を受けるでしょう。しかし我々が見ているのは、我々は選挙の第3ラウンドに行く可能性が、十分にあるということ。そして、ネタニヤフは言います。

「私はどこにも行かない。裁判所だけが、私を有罪と認めることが出来るのであって、他のだれも認めることが出来ない。そして、私は裁判所が言うことは何でも受け入れる。しかし、それまで私は無実だ」それが彼の発言です。しかし、我々は、すでにことが起こっているのを見ています。彼自身の党の中の人々は新しい予備選挙を求めています。さて、彼らは数ヶ月前に、選挙の第2ラウンドのために予備選挙を行いました。いま、彼らは再度行きます。これで人々が血の匂いを嗅いでいるのが見えるでしょう。人々は言いたいです。

「なあ、こんなことになって、彼は勝てないかもしれない。いま、私のチャンスをつかもう」だから、最初の問題は内側からです。第2の問題は、外部、検察官、最高裁判所からである可能性があります。「あなたは出馬は許されない」と、彼らが言うかもしれません。ところで、これは違法です。しかし、彼らは彼らが望むとおりに法律を曲げることが出来ます。彼らは、彼の件で、長い間ずっとそれをやってきたのです。そして3つ目は、ネタニヤフが何らかのかたちでなんとか降りて、彼の状況を解決するために、彼の望むことを行う。もし、敵がいま幸せで、敵がいま喜んでいたら、何があっても、イスラエルは弱く、脆弱にされます。彼らも血の匂いを嗅ぎますから。ネタニヤフはちょうど一週間前に素晴らしい瞬間を過ごしました。彼が、ガザとの最新ラウンドで北部に手を携えていた時に、そして、それらのテロリストが、当然の報いを受けるようにしていた時、彼は多くの支持を受えました。そして、もちろんベニー・ガantzが政府の形成に失敗。しかし、彼らは私たちが長くそれを喜ぶことをさせず、翌日、起訴状を発表しました。明確に伝えるために。

「あんまり彼を支持するな。再度、彼に投票できると思うな。我々は、イスラエルの闇組織が、いま、やろうとしていることを望んでいる」

しかし、私たち信者全員に知ってほしいのは、アメリカであろうと、ヨーロッパ、オーストラリアやニュージーランド、カナダ、そのほかの場所でも、どこでも、ほら、カナダの人々がひどい首相を見て、同じことを経験しているのを、私も知っています。しかし少なくとも、そこで彼は選挙に勝ったのです。いま、あなたが彼を好もうと、彼を憎もうと、国民が声を上げたのです。ところがイスラエルで私の問題は、ここで弁護士や検察官によって行われた、クーデターがあることです。そして、それはここでの投票さえ通していません。私は、「選挙をしよう」と言っているのです。もし彼が負けているのなら…。ところで、彼は今は負けるかもしれません。あなたがたが彼にしたこと、すべてが原因で。しかし彼が負けていて、あなたが勝っているなら、大丈夫です。しかし国民が話す前に、彼から出馬することさえ取ることが出来るとは思わないでください。

今、ひとつ、私に言えること。私の最大の間違い。そして、私はそれについて、自分が有罪である事を認めなければなりません。私は、ここは私が属する場所ではないことを、本当に忘れていました。私は、ここは私の家ではないことを本当に忘れていました。私は、ここは私の市民権がある場所ではないことを本当に忘れていました。私は、本当に、私にはより良い場所、より良い住居があることを忘れていました。私は、上にあるものを求める必要があることを忘れていました。コロサイ人への手紙3章にあるように、キリストが御父の右手に座しているところ。

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。（コロサイ3章1節から2節）

しかし、私は自分に言い聞かせるのを忘れていました。これが終わりの時の特徴だと聖書が告げていることを。イスラエルは、国家として基本的に自ら扉を開いて、ネタニヤフではない限り、だれでも受け入れようとしています。それによって、自ら大きな戦争をもたらすでしょう。そして、だれでもそれを修正できる人を受け入れます。状況を修正することができる者。イスラエルのネタニヤフと、アメリカのトランプ大統領の人格に『神の引き止める者』といった言葉を使うところでした。そして、私は思ったのです。「いや…これが当てはまるかどうか、分からない」私が言いたいのは、ただ、神は寛大にも、そのような人を私たちに与えてくださり、神は寛大にも、アメリカに、そのような人を与えてくださった。オーストラリアのような他の場所でも、それは奇蹟だったことを知っています。しかし、私に言えるのは、私たちは…。私は、皆さん全員に言っています。アメリカでさえ、皆さん、アメリカでさえ、です。言っておきます。

「政治家に信頼を置くな。議会や国会に、信頼を置いてはいけない」

あなたの司法制度、軍隊、シークレットサービスに、あなたの信頼を置いてはいけません。この世のシステムに信頼を置かないでください。あなたは、すぐに落胆します。私たちは、指導者のために、これらの人々のために祈らなければなりません。義が勝つことを祈らなければなりません。しかし同時に、そして、主はこの24時間の中に、ものすごく鮮やかなかたちで、私の心にそれを置かれたのです。

「アミール、あなたは市民権が何であるかを忘れたのか？あなたは、この国がますます良くなると本当に思っているのか。悪化するだけだと分かっているのに？」

つまり、今、私ははっきりと分かります。イスラエルが自らへりくだり、最終的にイエスをメシアとして受け入れるために、どれほど苦しまなければならないのか。イスラエルは他のすべての国々と同じであるべきだと考える、誇り高く傲慢なリベラル派の人々にとって、この道のりは長いということが今理解できます。バラムでさえ、気づいたというのに。この国は、自分たちは他のすべての国々と異なると考えている。ここは孤立している国だ。これは神が目的を持って、限られた期間、選ばれた国です。だから皆さんに言いたいのは、私は思っていたのですが、イスラエルは、ますますリベラルになって、反キリストを受け入れるでしょう。そして、彼らは、ますます宗教的になって、第3神殿を建てたいと思うでしょう。そして、どちらでも、彼らは逃します。そして、もちろん彼が彼の本性を見せる時、その時、彼らは、彼らの大きな間違いを理解します。そして、彼らはもちろん逃げ、神は3年半、砂漠で彼らを保護します。そして、キリストが戻ってきたら、彼らは最終的に彼を受け入れ、彼らは彼らが突き刺した方を仰ぎ見ます。私は自分自身をユダヤ人であり、イスラエル人であると考えているのと同じぐらい、かつてなかったほどに、私は、もう、ここに属していないと感じています。この国のシステムは、世界の他の部分のシステムと変わらない。腐敗、詐欺。非常に、非常に欺瞞的です。そして、たぶん、私の間違いは、私がいかに長い間、彼らを本当に信頼していたことだと思います。そして、私は皆さんを励ましたいと思います。といっても、これは単なる勧めではありません。これは励ましです。私たちは、話の終わりを知っています。私たちは、自分たちがどこに行くかを分かっています。私たちは、それが非常にすぐにであることを知っています。私たちは、神が行われることを知っている…。私たちは、この世に下される、神の御怒りに遭うようには定められていません。

「全世界に（イスラエルでさえ）来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう」（黙示録3章10節）

大患難はもちろん、イスラエルの救いのためであることを、私たちは知っています。それは「ヤコブの苦難の時」と呼ばれています。私はイスラエル人として、私の国がそれを経験することを残念に思います。しかし、明らかにいま起こっていることを見ていると、それは彼らにとって、自らへりくだり、彼らがいかに間違っているかを理解するための、唯一の方法です。現時点では、彼らはものすごくプライドが高く傲慢で、善を悪、悪を善だと考えるほどです。邪悪が善であり、善は邪悪である。私はイザヤ書の御言葉を考えていたのですが、預言者エリヤでさえ、アハブにあった時に、どのようにして話したか。アハブは邪悪で、エリヤをこう呼んだのです。

「これはおまえか。イスラエルを煩わすもの」（第1列王記18章17節）

それが私の見方です。私は、この国に一生をささげた男に対して、どのように人々が接しているかを見ています。そして、あの紙切れに書かれていたことが、私には信じられません。

「イスラエル国家は、ベンジャミン・ネタニヤフに反対する」

イスラエルの指導者です。彼の命をささげてイスラエルのために戦い、戦いで負傷した者。この国のために兄弟を失い、休みなく、最も長い間この国に仕えた男です。そして書面があります。彼は、だれにもお金を与えませんでした。彼はだれも殺していないし、彼はだれからも、何も盗まなかった。はい、彼は葉巻とシャンペンを受け取りました。つまり、神は…。というか、そんなに悪いことですか？これを見てください。その書面にはこうありました。

「イスラエル国家は、ベンジャミン・ネタニヤフに反対する」

それを見て、私は胸が張り裂けそうでした。そして…、彼は強い男です。彼は、それと戦うでしょう。私は、自分がそういうものと戦えるかどうかは分かりませんが、ありがたいことに、私は政治家ではありません。私はあの世界が好きです。それは恐ろしい世界です。しかし、私は、私が今いる世界が好きです。私は、私を贖う方が生きておられることを知っている世界。私が向かうと知っている世界。主が、私のために場所を準備してくださっていることを、私が知っている世界。そして、彼はもうすぐ戻ってきて、私をご自身に迎えてくださると言いました。主のいる所に、私もいるためです。自分の国を恥ずかしく思い、自分の国の制度に失望しているのと同じくらい、私は、私の贖い主を誇りに思います。わが救いの喜びを祝い、喜ばしく思います。そして、私は皆さんを励ましたいと思います。私はまた、皆さんに警告します。聞いてください。私たちは、私たちの市民権を覚えておく必要があります。私たちは、だれを信頼する必要があるのかを覚えておく必要があります。約束された方は真実な方です。私たちのシステムは真実ではありません。私たちの政治家は真実ではない。我々の司法制度は、軍隊でさえ、残念ながら闇組織の腐敗した人間がいます。内部告発者は、おそらく、しかし彼らは全員が、実際に嘘つきと詐欺師です。皆さんにお伝えしたいと思います。ベンジャミン・ネタニヤフが、いま経験していること…、私はそれに胸が引き裂かれています。しかし私は、それから自分自身を解き放つ必要があります。そして、私の国籍は天であり、ここは私の家ではないことを思い出させなければなりません。そして、私は彼のために祈らなければなりません。彼のために祈ってください。しかし、聖書で見る限り、事態は良くなることを覚えておいてください。事態は悪化するだけです。これは私にとって、“リアリティーチェック”です。これは私にとって、“ウェイクアップ（目覚まし）コール”でした。そして、それはたぶん…、私はこの配信を、ウェイクアップ・コールを待っている、すべての人にささげます。私たちは、本当にウェイクアップ・コールが必要です。はい、私たちは正義に投票する必要があります。家族の価値観に投票する必要があります。私たちはプロライフ（生命尊重派）で、家族の価値を尊重し、親イスラエル派に投票する必要があります。しかし、それがうまくいかない場合でも、悲嘆に暮れたり、心を痛めないでください。なぜなら、私たちは物事がどのように進んでいくかを知っているのです。そして、彼が来られるまで、私たちは従事していなければならないことを覚えていてください。そして、イエスが来られるまで、私たちは、イエスについて、人々に話さなければなりません。そして、彼が来るまで、私たちは父の仕事をしなければなりません。そして、必ずしも、今ここで正義と王国を回復する必要はありません。実際には、そうではありません。聖書は、この世界はますます悪化し、悪化するだけだと教えてくれます。そして、それが私たちの前で起こる時、私たちはそれほど驚くべきではありません。私たちは、それについて喜ぶべきではありませんが、少なくとも、彼が私たちにそれが起こると言ったことを知る必要があります。彼が、私たちを愛しているから、私たちに警告されたのです。そして、彼は私たちに言うておられます。「あなたの希望は、これらのことにはありません」

もしあなたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

(コロサイ3章1節から2節)

ということで、私の周りを見て、はい、私は失望しています。はい、私は悲嘆に暮れています。しかし、他の人とは異なり、私は救われています。私には救いの喜びがあって、世はそれを私から奪うことは出来ません。私は希望を持っている。私には、私のために用意されている場所があり、私には、私を迎えに来るという約束があります。先ほども言ったように、約束した方は真実です。皆さんの多くが、これに耳を傾けてくださって、本当に感謝します。そして、このメッセージは少し否定的な面がありますが、これによって、あなたとあなたの家族が、本当に上のものを求めることを期待しています。そして、私たちの希望は、この世

にはないことを覚えておいてください。そして、贖い主が生きることを思い出してください。彼はすでに勝った。彼はすでに死を打ち負かしました。そして、彼がかつてリアルだったように、今、彼が私たちを迎えに来る時も、リアルになります。私はただ…、私は毎日、人々を国中に引率しています。そして、毎日、福音の真理、福音の現実を思い出します。この国、イスラエルは第5の福音です。つまり、4つの書かれた福音があり、それ自体が自ら語る土地があります。だから、私はここに住んで、この国を見せることができるのは、とても幸せです。そして、私は今後数週間、がんばって政治的混乱から自分自身を解き放ちます。私は首相のために祈りますが、私は希望を、ここにあるものには置きません。私は何も期待していませんから。私はまったく希望を持っていません。私は、この世のシステムについて何もほめることが出来ません。しかし、私は天にいる御父について、良いことがたくさん言えます。聞いてくださり、ありがとうございました。

イラン、イラク、レバノンの状況は、とても脆弱であることを皆さんに伝えたいと思います。イラクではバグダッドのタハリール広場に今、数十万人の抗議者がいます。イランでは、すでに300人を超える死亡者が出ていて、インターネットが閉鎖されています。約22%と、少し上がりましたが、それは官庁や大学でのみ、国民や個人の家ではありません。そして、レバノンでも至る所で、四六時中デモが起こっています。皆さん、お伝えしたいのは、事態は非常に脆弱であり、さらに私たちが理解しているのは、数日前のイスラエルによるシリアでの攻撃によって、シリア国内のイラン政権に、驚くべき被害をもたらしています。我々はダマスカスの空港の『ガラスの建物』として知られる管制塔に取り付けられていた、彼らのコントロールセンターを破壊しました。そして、彼らはそれが不満です。そして、彼らは、なんとか報復しようとするかもしれないし、彼らは、この状況を利用しようとするかもしれません。…突然、彼らは「イスラエルとの関係は今、最悪である」と言います。彼は今、苦しい状況にいますので、そう言います。人々は彼に抗議して、デモを行っています。そして、いつものように、自身の欠点から国民の注意をそらす最善の方法は、イスラエルに対して、それらを方向転換することです。しかし、皆さんに伝えたいと思います。私は何よりも嬉しいです。イスラエルの神、イスラエルのメシアが、ユダ族の獅子が、もうすぐ来られます。そして、私をここから連れ出してください。だから私は幸せです。私は、続けて、この国に人々を連れて来ます。私は案内し続けます。私は、もはや自分の司法制度や政治体制を誇りに思いません。私は、おそらく、そうはならないだろう。しかし言っておきます。世界中のどの国でも、同じことが起こります。この世界のすべてのシステムは、失敗する運命にあります。核心から破損していますから。残念ながら、この世に残っているリーダーのうち、善を行う人の数は、どんどん少なくなります。そして、それはもちろん、反キリストが立ち上がり、人々に希望を与えるためにステージを準備します。しかし、私たちはここでそれを見ることはありません。反キリストが足を踏み入れるには、引き止める者が取り除かれなければなりませんから。私が言うべきことは、それだけです。では祈って、このアップデートを肯定的に終わらしましょう。

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)**

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)**

この混沌とした時代に、私たち全員が必要とする平和。
平和の主である、平和の君にしか与えることができない平和。
彼が、今も永遠に、どこでも、至る所で、その平和を与えてくださいますように。
彼の御名はイエシュア、イエスです。
彼の御名で私たちは祈ります。
アーメン。

すべての理解を超える神の平和が、あなたの心を守り、あなたを励まし、これらの暗い暗い日にあなたを支えてくださいますように。

ありがとうございます。God bless you !

私のために祈ってください。今週末は、オランダにいます。もちろん、今ではありません。一週間後です。私はユーロスピリットカンファレンスで、オランダにいます。主催者と私の両方にセキュリティ上の課題があります。すべてが順調に進むように、私たちに敵対して作られる武器が役に立たなくなるように、お祈りください。そして、また、イスラエルから向かう、私の友人と私のために祈ってください。メッセージが明確になり、油が注がれるように、お祈りください。そして、私の家族、私のチーム、そして、世界中にいるその家族のために祈ってください。

ありがとうございます。

イスラエルのガリラヤ湖から、シャローム。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.11.30 (Sat)